

## ■学校経営のポイント

### 新型コロナ「通知」対応と年度末に向けた締めくくり

小島 宏

緊急事態宣言(1月8日)の再発令を受け、文科省からも「通知(2文科初第1462号)」が出た。本通知を踏まえ、感染対策を一層徹底する必要がある。

とともに、多難であった今年度を振り返り、年度末を適切に締めくくり、次年度の充実した学校運営と教育活動に繋げたいものである。

#### 通知に基づく対応策の確認と徹底

感染防止対策を徹底するとともに、宣言の対象になった地域の学校に求められた事柄(参考:通知の別紙2「チェックリスト」)を、他の地域の学校においても配慮することが求められる。

特に、健康観察の徹底、感染リスクの高い教育活動(各教科等の対面形式やグループ活動、理科の実験・観察、音楽の合唱や演奏、図工の共同制作や鑑賞、技術家庭の実習、保健体育の密集する運動)の一時停止、給食や部活動の工夫などが重要である。

#### 指導内容の取扱いと学び方の指導

臨時休業や3密対策の影響で、各教科の指導内容がまだ残っている状況がある。そこで、指導内容の未習がないよう工夫が必要である。

その際、「知識・技能の習得」に偏らず、子どもに「学び方を身に付ける」指導にも十分に配慮したい。

#### 授業時数の確保

授業時数の確保も課題である。各教科等の合科あるいは関連的な展開によって教育的・合理的に確保するよう努める。その際、指導内容に応じて、15分や20分など短時間を組み合わせるモジュール制による時間割の工夫なども考えられる。

#### 子どもの安全・安心・安定

子どものストレスにも配慮し、次の事柄を重点に、子どもの安全・安心・安定を確保したい。

- 子どもの安全な生活の確保
- 子どもが安心できる学習活動や悩み相談の実施
- 心が安定する学級経営と好ましい人間関係づくり

#### 学年末・学年始めの儀式的行事

子どもにとっても保護者にとっても、関心の高い儀式的行事(卒業式と修了式、入学式と始業式)についても、ねらいを踏まえつつ、従来の形式にとらわれることなく、「心に残る」行事にすることを優先して実施することが肝要である。

#### 学校評価の実施

年度末に向けて、学習評価、進級・卒業関連事務など多忙な時期であるが、重点化するなど工夫して学校評価を実施したい。その際、「よい点を確認しより良くする」「課題とその原因を特定し改善する」「無駄・無理を廃止する」「不足や変化に応じて新規導入をする」ことを基本に、ピンチをチャンスとチェンジにする好機ととらえ、評価の結果を有効に活用したい。

#### 教育課程の編成と実施の工夫

また、新年度の教育課程を構想し、編成する時期でもある。コロナ禍の苦い経験を踏まえ、全体計画の作成、教育課程の全体構想と編成及び各教科等の年間指導計画の作成、生徒指導やキャリア教育の年間指導計画の作成を進めるようにする。

#### 指導方法の開発・工夫

今後も緊急対応の求められる事態は起こり得る。そこで、対面授業に加えてオンライン授業の実施、学校での授業と在宅による授業の組み合わせ、問題解決学習や体験活動と知識・技能を習得する学習の工夫など、学校としてあるいは近隣の学校と協働して開発・工夫し、共有化することが求められる。

(こじま・ひろし=元東京都公立小学校長・(公財)豊島修練会理事長)

●各月・各週の講話実例と講話づくりのヒントが満載 《1月29日発売 予約受付中!》

### 1年間 毎週使える校長講話 2021 ——小・中94文例

学校講話・メッセージ研究会【編】 四六判 / 216頁 / 定価 2,200円(税込)

